

事業者ヒアリング事前アンケート結果一覧 (R2.8実施)

参考資料 1

1 各業種共通質問

			問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	
業種	事業者	事業所規模	分別方法	排出量 (年間)	排出量 (種別)	費用負担感	ごみ減量・リサイクルの取組状況	ごみ減量・リサイクルの情報入手	従業員への意識付け	食品廃棄物のリサイクル	食品廃棄物のリサイクル推進に必要なこと	福岡市の施策で知っているもの	ごみ減量リサイクルに関する行政への要望	
1	小売	ビル管理	従業員：約6,000人 事業所数：約140店 延べ床面積：約11,000㎡	可燃 不燃 資源物	2,816トン	可燃 1,892トン 不燃 277トン 古紙 647トン	かなり高い	ペーパーレス化推進	特に参考としているものはない	特に実施していない	している (一部店舗)	・保管冷蔵庫購入経費に係る補助 ・資源化処理費への補助 ・生ごみ処理機設置経費への補助	・福岡エコ運動 ・紙ごみや食品廃棄物のリサイクル施設設置支援	古紙・食品廃棄物以外のリサイクル促進のための補助制度
2	飲食	ビル管理	従業員：約3,000人 事業所数：約20店 延べ床面積：約2,000㎡	可燃 不燃 資源物	436トン	可燃 237トン 古紙 56トン 食品廃棄物 116トン 資源物 (廃油, カ・びん・パット等) 27トン	やや高い	特に取組んでいない	許可業者からの広報	その他 (各テナントに任せている)	している	分別マニュアル等の提示	事業系一般廃棄物ルールブック	古紙・食品廃棄物以外のリサイクル促進のための補助制度
3	宿泊業	ホテル	従業員：約400人 延べ床面積：約46,000㎡	可燃 不燃 資源物	488トン	可燃 217トン 不燃 11トン 古紙 50トン 食品廃棄物 92トン 資源物 (びん, 缶類) 114トン	かなり高い	社員等事業所内での呼びかけ	市作成の広報紙, パンフレット等	その他 (ミーティングにて呼びかけ)	している	説明会, 講習会の開催	事業系一般廃棄物ルールブック	古紙・食品廃棄物以外のリサイクル促進のための補助制度
4	医療・福祉	病院	従業員：約100人 延べ床面積：約2,000㎡	可燃 不燃 資源物	80トン	可燃 50トン 不燃 10トン 古紙 4トン 食品廃棄物 16トン 缶・ビン 0.4トン	やや高い	ペーパーレス化推進	市作成の広報紙, パンフレット等	電子メール, チラシ回覧等により周知	していない	分別マニュアル等の提示	事業系一般廃棄物ルールブック 市事業系ごみ資源化情報発信サイト 紙ごみや食品廃棄物のリサイクル施設設置支援	優良な事業者を認定する制度
5	医療・福祉	住宅型有料老人ホーム	従業員：約100人 延べ床面積：約4,000㎡	可燃 不燃 資源物	60トン	可燃 40トン 不燃 10トン 古紙 2トン 食品廃棄物 8トン	かなり高い	・社員等事業所内での呼びかけ ・ペーパーレス化推進	・市HP, Facebook等 ・許可業者からの広報	・電子メール, チラシ回覧等により周知 ・ポスターや掲示物により周知	していない	・分別マニュアル等の提示 ・資源化処理費への補助 ・資源化施設の充実	事業系一般廃棄物ルールブック	・優良な事業者を認定する制度 ・事業者と収集業者の協議の場設置 ・古紙・食品廃棄物以外のリサイクル促進のための補助制度
6	医療・福祉	介護付き有料老人ホーム	従業員：約30人 延べ床面積：約900㎡	可燃 不燃 資源物	17トン	可燃 15トン 不燃 1トン 古紙 0.1トン 食品廃棄物 1トン	妥当	ペーパーレス化推進	新聞, テレビ, ラジオ	ポスターや掲示物により周知	していない	・リサイクルに関するPR動画による啓発 ・分別マニュアル等の提示 ・説明会, 講習会の開催 ・資源化処理費への補助 ・生ごみ処理機設置経費への補助	事業系一般廃棄物ルールブック	古紙・食品廃棄物以外のリサイクル促進のための補助制度
7	医療・福祉	介護老人保健施設	従業員：約100人 延べ床面積：約3,000㎡	可燃 不燃 資源物	58トン	可燃 24トン 不燃 1トン 古紙 27トン 食品廃棄物 7トン	やや高い	その他 (食品廃棄物の堆肥化)	市作成の広報紙, パンフレット等	ポスターや掲示物により周知	している	・資源化処理費への補助 ・生ごみ処理機設置経費への補助	事業系一般廃棄物ルールブック	優良な事業者を認定する制度
8	医療・福祉	医療法人 (介護老人保健施設, グループホーム等)	従業員：約100人 延べ床面積：約6,000㎡	可燃 不燃 資源物	43トン	可燃 32トン 不燃 1トン 古紙 2トン 食品廃棄物 7トン 資源物 (缶類) 1トン	かなり高い	その他 (食品廃棄物の資源化)	・市HP, Facebook等 ・市作成の広報紙, パンフレット等 ・インターネット関連サイト	電子メール, チラシ回覧等により周知	している	資源化処理費への補助	・事業系一般廃棄物ルールブック ・優良事業所表彰制度	優良な事業者を認定する制度
9	医療・福祉	病院	従業員：約800人 延べ床面積：約34,000㎡	可燃 不燃 資源物	530トン	可燃 460トン 不燃 3トン 古紙 16トン 食品廃棄物 51トン	やや高い	・社員等事業所内での呼びかけ ・ペーパーレス化推進	・市作成の広報紙, パンフレット等 ・インターネット関連サイト	電子メール, チラシ回覧等により周知	している	特に必要ない	・事業系一般廃棄物ルールブック ・紙ごみや食品廃棄物のリサイクル施設設置支援	-

ほぼ全ての事業者が費用の負担感が高いと感じている。

食品廃棄物のリサイクルをしていない事業者からも要望があり、リサイクルの余地がある。

○事業者ヒアリング事前アンケート結果一覧（R2.8実施）

参考資料1

2 業種別質問

			問12	問13	問14	問15	問16	問17	
業種	事業者	事業所規模	プラスチック削減に向けて取り組んでいること	プラスチックごみの削減に向けて、今後取り組んでみたいこと	プラスチックごみの削減を進める上での課題	店頭で回収したペットボトル、食品トレイ等の資源化方法	食品ロスを削減する工夫	需要予測システムやフードシェアアプリ等の施策について	
1	小売 ビル管理	従業員：約6,000人 事業所数：約140店 延べ床面積：約11,000㎡	プラスチック製容器包装・製品を再生材や再生可能資源へ切り替え	-	代替となる再生材や再生可能資源のコスト	-	各テナントの取り組みまでは把握していない	-	
			問18	問19	問20				
業種	事業者	事業所規模	食品ロス削減のための工夫	食べ残しをなくすための工夫	持ち帰り希望への対応及び持ち帰り推進について				
2	飲食 ビル管理	従業員：約3,000人 事業所数：約20店 延べ床面積：約2,000㎡	ビル管理者のため該当なし	ビル管理者のため該当なし	-				
			問21	問22	問23				
業種	事業者	事業所規模	客室のごみ分別・リサイクル	利用客へ行動を促す工夫	観光客増による変化と内容				
3	宿泊業 ホテル	従業員：約400人 延べ床面積：約46,000㎡	客室清掃員が新聞・雑誌等を分けて回収	連泊の利用者へシート等交換不要の場合は、ギフト等を渡しエコを推進	・増えた（1.2倍程度） ・商品の包装ごみ				
			問24	問25	問26	問26-2	問27	問28	問29
業種	事業者	事業所規模	食べ残しを減らす工夫	紙おむつ発生量	燃えるごみ以外の紙おむつの処理方法	紙おむつのリサイクルの導入	紙おむつのリサイクルの課題	高齢人口増による変化と内容	新型コロナウイルスによる変化と内容
4	医療・福祉 病院	従業員：約100人 延べ床面積：約2,000㎡	利用者の食事嗜好を確認	把握していない	検討したことはない	手間や費用が変わらなければ導入したい	・回収頻度 ・費用が高い	変わらない	変わらない
5	医療・福祉 住宅型有料老人ホーム	従業員：約100人 延べ床面積：約4,000㎡	利用者の食事嗜好を確認	把握していない	検討している	現段階ではわからない	・人手が足りず分別が手間 ・保管場所の確保が難しい ・回収頻度 ・費用が高い	・増えた（1～2袋） ・利用者増と要介護度やADLの変化	・増えた（1～2袋） ・防護服など捨てるタイプの衛生用品が増えた
6	医療・福祉 介護付き有料老人ホーム	従業員：約30人 延べ床面積：約900㎡	・利用者の食事嗜好を確認 ・食べ残しが続く場合は聞き取りし、可能な限り調整	把握していない	検討したことはない	現段階ではわからない	・人手が足りず分別が手間 ・保管場所の確保が難しい	・増えた ・入居者の重度化に伴い、おむつ使用量が増加	・増えた ・マスクや破棄する消毒液容器が増加
7	医療・福祉 介護老人保健施設	従業員：約100人 延べ床面積：約3,000㎡	食べ残しが続く場合は聞き取りし、可能な限り調整	把握していない	検討したことはない	手間や費用が変わらなければ導入したい	・人手が足りず分別が手間 ・保管場所の確保が難しい ・その他（どれくらいの費用が現段階でわからない）	変わらない	・減った ・感覚であるが、各種備品の納品が滞っているため、節約して使用しており、その分多少減っている
8	医療・福祉 医療法人（介護老人保健施設、グループホーム等）	従業員：約100人 延べ床面積：約6,000㎡	・利用者の食事嗜好を確認 ・食べ残しが続く場合は聞き取りし、可能な限り調整	紙おむつ 4～5袋/日（70L袋）	検討したことはない	手間や費用が変わらなければ導入したい	・人手が足りず分別が手間 ・保管場所の確保が難しい	変わらない	変わらない
9	医療・福祉 病院	従業員：約800人 延べ床面積：約34,000㎡	-	把握していない	検討したことはない	導入しない	・人手が足りず分別が手間 ・保管場所の確保が難しい	変わらない	変わらない

ビル管理者が各テナントの取り組みまでは把握されていない。

商品の包装ごみの増加については、施設特性に応じた取り組みの余地がある。

ほとんどの医療福祉施設において、食べ残しを減らす取り組みが行われている。

費用以前に、人手や場所の確保が難しく、紙おむつリサイクルのハードルが高い。